

君津市地球温暖化対策実行計画 平成30年度実施状況報告書



**令和元年8月
君 津 市**

目 次

1	計画の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	平成30年度における温室効果ガス排出量（実績）・・・・・・・・	1
	（1）市の事務及び事業における種類別温室効果ガス排出量・・・・・・・・	3
	（2）活動種類別の排出量と使用量・・・・・・・・	4
	（3）部門別温室効果ガス排出量・使用量・・・・・・・・	5

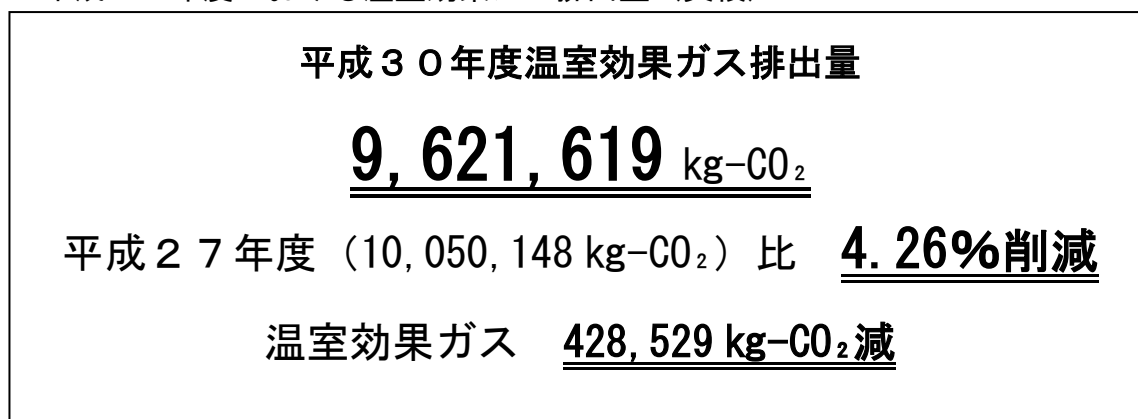
1 計画の目標

君津市では、平成29年3月に「第4次君津市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の事務及び事業による温室効果ガス排出量を平成29年度から令和3年度までの5年間で、基準年度(平成27年度)に対し、10%削減することを目標とした。

温室効果ガスの削減目標



2 平成30年度における温室効果ガス排出量（実績）



平成30年度の市の事務及び事業の温室効果ガス排出量は9,621,619kg-CO₂で、基準年度と比較して428,529kg-CO₂減少したものの、削減率は4.26%にとどまった。

第4次計画では国の実行計画に基づき、地方公共団体に対し高い数値目標が求められたことを踏まえ10%削減としたが、計画2年目においては、公共施設等の再編が途中であること、電力会社の変更による排出係数の増などにより、10%削減には至らなかった。

主な要因ごとの削減の目安及び平成30年度の結果を表2-1に示す。

なお、全庁的に照明の間引き点灯、こまめな消灯等の節電の取組が実施されていること、ノー残業デー及びリフレッシュデーを実施していること、本庁舎等のLED化の推進などにより電気使用量については減少しているものの、電力会社の変更による排出係数の増により、表2-2に示すとおり、温室効果ガスの削減率は前年度の削減率4.48%より僅かに低くなった。

今後とも、目標を達成するために、省エネルギー設備の導入、公共施設等の再編、庁用自動車の適正配置等のハード面の取組のほか、ソフト面として、日常業務における職員の省エネルギーの推進等の取組に努めることとする。

(表 2-1) 主要要因ごとの削減の目安及び平成 30 年度の結果

主な要因		基準年度値 (kg-CO2)	削減見込率 (%)	削減見込量 (kg-CO2)	H30 排出量 (kg-CO2)	H30 削減率 (%)	H30 削減量 (kg-CO2)
ハード面	省エネルギー 設備の導入	10,050,148	2.0%	201,000	9,621,619	0.57%	57,595
	公共施設等の 再編に係る取組		3.0%	301,500		1.50%	150,373
	庁用自動車の 適正配置		1.0%	100,500		0.67%	67,684
ソフト面	日常業務における 職員の取組		4.0%	402,015		4.42%	443,941
	契約電力会社の 変更		—	—		△2.90%	△291,064
合 計			10.0%	1,005,015		4.26%	428,529

※ 「省エネルギー設備の導入」の削減要因については、本庁舎照明及び道路照明の一部を LED 化したことによるものである。

※ 「公共施設等の再編に係る取組」の削減要因については、社会福祉センター（偕楽園）の廃止、宮下保育園及び清和診療所の民営化、あけぼの保育園と亀山保育園の統合、周西幼稚園の閉園等によるものである。

※ 「庁用自動車の適正配置」の削減要因については、個々の庁用自動車における燃料使用量及び走行距離の削減並びに車両の適正配置に伴う台数の削減によるものである。

※ 「契約電力会社の変更」の増加要因については、電気の排出係数の変更によるものである。

※ 「日常業務における職員の取組」については、全体からその他の要因分を差し引いて算出した。

(表 2-2) 温室効果ガス排出量の推移

年度	温室効果ガス排出量	基準年度比削減率
平成 27 年度（基準年度）	10,050,148 kg-CO ₂	—
平成 29 年度（計画 1 年目）	9,600,010 kg-CO ₂	4.48%
平成 30 年度（計画 2 年目）	9,621,619 kg-CO ₂	4.26%

(1) 市の事務及び事業における種類別温室効果ガス排出量

ガス 種類	項 目	H 2 7 基準年度 (単位 : kg-CO ₂)	H 3 0 (単位 : kg-CO ₂)	増減率
C O ₂	電気の使用	8, 628, 541	8, 432, 874	-2. 27%
	ガソリンの使用	223, 584	212, 298	-5. 05%
	軽油の使用	281, 240	223, 124	-20. 66%
	灯油の使用	314, 794	232, 835	-26. 04%
	A 重油の使用	388, 019	319, 552	-17. 65%
	L P ガスの使用	116, 202	103, 535	-10. 90%
	都市ガスの使用	84, 487	85, 601	1. 32%
C H ₄	自動車の走行	435	467	7. 36%
N ₂ O	自動車の走行	10, 558	8, 974	-15. 00%
H F C	カーエアコンの使用	2, 288	2, 359	3. 10%
合 計		10, 050, 148	9, 621, 619	-4. 26%

※ C O₂=二酸化炭素、C H₄=メタン、N₂O=一酸化二窒素、H F C=ハイドロフルオロカーボン

【参考】温室効果ガス排出量の算定方法

温室効果ガス排出量は次の計算式で求めた値を集計したものである。

温室効果ガス排出量=使用量×排出係数×地球温暖化係数

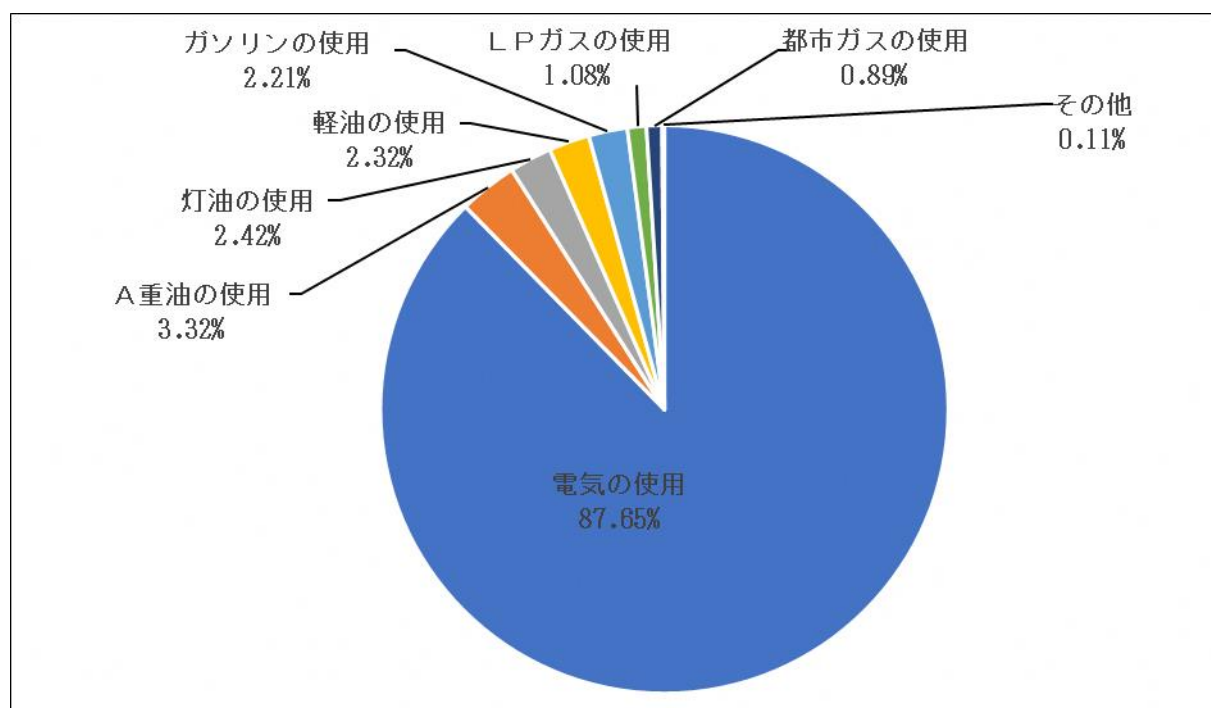
二酸化炭素以外のガスについては、下記の地球温暖化係数を用いて、二酸化炭素に換算した。

ガス種類	地球温暖化係数 (GWP)
二酸化炭素 (C O ₂)	1
メタン (C H ₄)	2 5
一酸化二窒素 (N ₂ O)	2 9 8
ハイドロフルオロカーボン (H F C)	1, 4 3 0

※ 電気の排出係数は、第4次計画の基準年度（平成27年度）における係数を使用している。

(2) 活動種類別の排出量と使用量

ガス 種類	項 目	温室効果ガス排出量 (単位：kg-CO ₂)	使用量	単位	割合
C O ₂	電気の使用	8,432,874	16,571,673	kWh	87.65%
	ガソリンの使用	212,298	91,442	ℓ	2.21%
	軽油の使用	223,124	86,316	ℓ	2.32%
	灯油の使用	232,835	93,527	ℓ	2.42%
	A重油の使用	319,552	117,932	ℓ	3.32%
	L P ガスの使用	103,535	15,812	m ³	1.08%
	都市ガスの使用	85,601	38,317	m ³	0.89%
CH ₄	自動車の走行	467	1,255,523	km	0.00%
N ₂ O	自動車の走行	8,974	1,255,523	km	0.09%
H F C	カーエアコンの使用	2,359	165	台	0.02%
合 計		9,621,619			100%



※ その他とは、CH₄、N₂O、H F Cの排出量を合計したものを指す。

(3) 部門別温室効果ガス排出量・使用量

種類別 部門	電気 (KWh)	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	灯油 (ℓ)	A重油 (ℓ)	LPガス (m³)	都市ガス (m³)	排出量 (kg-CO ₂)	割合
総務部	1,667,040	11,314	12,688	0	0	0	3,022	910,000	9.46%
企画政策部	0	620	0	0	0	0	0	1,559	0.01%
財政部	0	1,446	0	0	0	0	0	3,542	0.04%
市民環境部	2,269,531	13,960	12,845	23,560	17,432	114	0	1,323,811	13.76%
保健福祉部	1,124,362	8,092	1,694	14,523	0	6,707	22,908	751,717	7.81%
経済部	477,192	3,290	0	0	8,500	22	0	282,756	2.94%
建設部	1,033,317	5,266	12,174	0	0	10	0	566,468	5.89%
水道部	5,004,707	5,527	354	0	0	27	0	2,541,936	26.42%
会計課及び各事務局	0	963	0	0	0	0	0	2,311	0.02%
教育部(小中学校を除く)	2,360,775	6,323	25,980	30,136	92,000	2,967	5,267	1,632,970	16.97%
小中学校	2,164,781	609	0	24,346	0	4,030	85	1,192,925	12.40%
消防機関	469,968	34,032	20,581	962	0	1,936	7,035	411,626	4.28%
合計	16,571,673	91,442	86,316	93,527	117,932	15,812	38,317	9,621,619	100.00%

※ 「合計」については、小数点以下四捨五入で積算している。

